

榎木光治先生「雪発電」講演会アンケート集計結果

令和5年6月1日実施
大石田町虹のプラザ会場
参加者73名中58名回収

1. 今回の内容は、参考になりましたか。

・大いに参考になった	26	45%
・参考になった	18	31%
・参考にならなかった	0	
・未回答・わからない	14	24%

2. 榎木先生の「雪発電研究」の実用化について。

・自治体で取り組んでもらいたい（取組みたい）	14	24%
・企業で取り組んでもらいたい（取組みたい）	15	26%
・今後の研究に注目したい	29	50%
・実用化には課題が多すぎる	0	

3. 今後の開発予定で、積雪発電のエンジンや充電器などの実用化ができることに期待していますか。

・大いに期待したい	36	62%
・期待したい	7	12%
・期待していない	0	
・未回答・わからない	15	26%

4. 質問、感想、今後取り上げてほしい内容

- ・大石田町では、屋根の雪下しの人手不足ですので、屋根へのヒーター配線できる位の発電力を期待します。
- ・温泉施設を管理する立場にあるので温泉と雪の真逆の物質から抽出したエネルギーで経営に役立てたい。
- ・ぜひ成功させていただきたい。応援しています。目標はいつごろ？
- ・雪国で悩んでいる屋根雪消雪用として特に取り組んでほしい。
- ・豪雪地帯に希望が見えた気がします。実用化に向けて期待しています。

- ・大石田町であれば資金はなかなか提供できませんが、雪と場所はいくらかでも提供できますので何卒よろしくお願ひします。冬の田んぼなど広い面積をとれるかなと思ひました。
- ・大石田町に住んでいて、雪がお金にかえられることができれば最高の変革であると感じていたので、とても興味深い講義でした。今後、大いに期待しています。
- ・発電機のタービンを回すのは温度差による空気なのでしょうか？今回の実験では雪（低温）側はホースを使用していますが熱交換器（ラジエター）を使用すれば集温スペースは小さくて済むと思ひますが！大変良かったです。
- ・太陽光発電と併用し、家庭で雪発電が実用化する目途などがありますでしょうか。
- ・理論から実践へ、その一步をふみ出した研究であると思ひました。研修の進展を注目しております。ご活躍をご祈念申し上げます。大石田町には行政としてかかわっていただいてその効率を見極めて実現性を考えてほしいと思ひました。
- ・仕組みを知れば夢でもなくなる。とても楽しくお聞きしました。先生ありがとうございます。大石田町にお目を向けて頂きうれしく思ひます。
- ・ぜひ、大石田でも試験してみてもらいたい。
- ・北村山管内には、雪室の施設が多く主な目的は、米やそばの保存に利用されています。今夏の話聞いて冷水を利用して発電できる可能性があるような気がしますが、どうでしょうか。（ご返事いただきたい。可能であれば二藤部さんをお願いします）
- ・地域にとって雪がネガティブにとらえられがちで、人口減少の要因だと言われています。（それだけではないと思うのですが）雪国に暮らす人々が、雪を良いものと思えるようになるのかもしれないと思ひました。貴重なお話しありがとうございました。
- ・ぜひ、山形県内豪雪地帯でシーズンを通した実験をお願いします。
- ・実用化には課題が多すぎる。
 - ①プール47杯分で一人の年間消費電力を確保→3人家族として1世帯47×3=141か所の25mプールが必要。
 - ②2m×70cm×105mが必要、そこから（エネルギー）発電したものを家庭へつないで分配するイメージがつかめない。

- 雪発電というよりは、太陽熱発電と言った方が良いか？
- 利用に取組み、冷熱エネルギーの利用に取組んで自然エネルギーの困難さを実感しています。（雪を解かさない工夫、雪室等で）発電までは気づきませんでした。期待します。
雪の中の配管の周りがスカスカになっても冷熱は変わりなく取れますか？
- 雪国ではとても役立つ画期的な手法だと思いました。太陽光パネルは景観上も問題になっています。より、自然界のものを活用して発電し、素晴らしいと思います。今後の研究、実用化に期待しております。
- とりあえず、非常用電源、融雪のための補助電源として活用できるのではないかと思います。発電システム製造過程および廃棄過程のCO2排出を抑えたシンプルでクリーンなエネルギーこそ求められています。これなら近いうちに実用化できるような気がしました。有り難うございました。期待しています。